

歯科における

化学物質の リスクアセスメント

(危険性または有害性の調査)



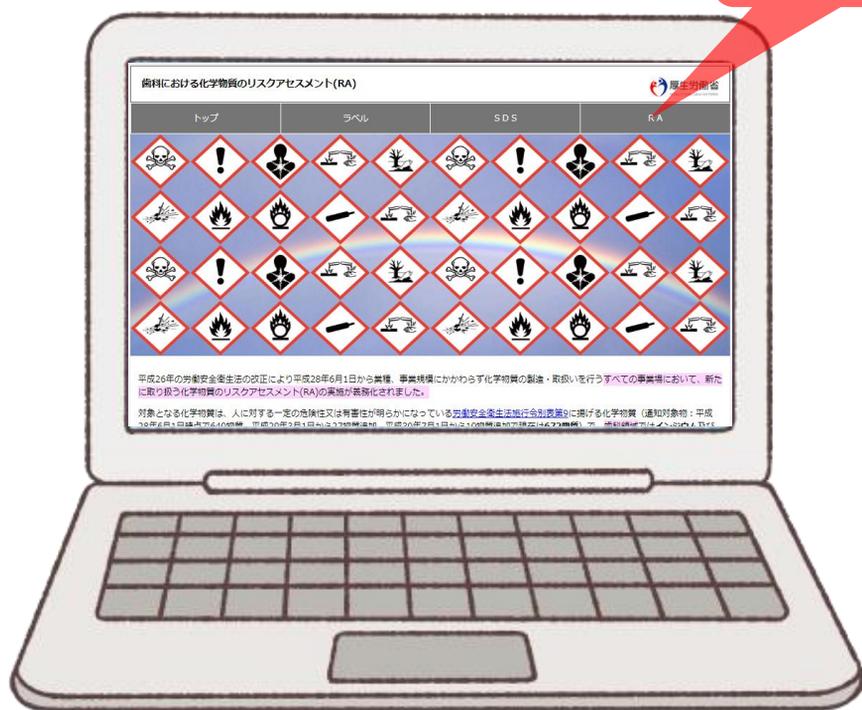
化学物質のリスクアセスメントとは？

化学物質やその製剤の持つ危険有害性を特定し、それによる労働者への危険または健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスク低減対策を検討することをいいます。

日常使っている化学物質の危険・有害性を知って対策し、現在のみならず将来の健康障害を予防しましょう！

- ◆ 日本歯科医師会が定めた歯科分野で想定される主な化学物質“**11物質**“に対し「**歯科診療室での切削・研磨作業**」での**化学物質のリスクアセスメント**を特別な知識がなくてもどなたでも容易に法令に即した方法で行うことができます。
- ◆ パソコンやスマートフォンから直接アクセスできるため、ソフトのダウンロードなど複雑な手順を必要としません。

RAを選択



- ◆ 次のいずれかの方法でHPにアクセスしてください。
 - ① ツールバーに直接「**https://歯科.net**」を入力
 - ② 「**歯科.net**」で検索
 - ③ 右のQRコードを読み込む

歯科.net

検索



必要事項を入力したら、4項目を選択するだけ！

わずか

作業環境濃度レベルを選択してください。

① 1日の取扱量

取扱量	粉体
中量	kg単位で計る程度の量
少量	g単位で計る程度の量

② 飛散性

粉体の飛散性	物理的性状
高飛散性	<u>微細な軽い粉体</u> （光重合レジンの切削片、金属の切削片など）
中飛散性	<u>顆粒状・フレーク状</u> （化学重合レジンの切削片など）

クリックすると
例が写真で
見れます。

③ 換気

換気状況	換気の形式
密閉化	<u>密閉された技工ボックス</u> を使用
局所排気 (囲い式)	<u>チェアサイド調整用サクシオン</u> や <u>集じん装置のついた技工ボックス</u> を使用、 <u>口腔外バキューム</u> の <u>囲い式アタッチメント</u> を使用
局所排気 (外付け式)	<u>口腔外バキューム</u> を使用
全体換気	<u>換気扇</u> を使用
換気なし	何もない

作業時間・作業頻度レベルを選択してください。

④ 接触時間割合

シフト内の接触時間割合	(例) 1日8時間勤務の場合
87.5%以上	7時間以上
50%以上～87.5%未満	4時間以上～7時間未満
25%以上～50%未満	2時間以上～4時間未満
12.5%以上～25%未満	1時間以上～2時間未満
12.5%未満	1時間未満

リスクに応じた低減対策を具体的にアドバイス

- ◆ リスクアセスメント結果を**プリントアウト**して常時掲示または備え付けていただければ、法令で義務化された化学物質のリスクアセスメントは完了です。
- ◆ 結果にはリスクに応じた**具体的な低減対策**が提示されますので、必要に応じたリスク低減対策を実施してください。

化学物質のリスクアセスメント結果

実施日：2022年7月8日
有効期間：3年（2025年7月7日を超える場合は再度リスクアセスメントを行ってください）
歯科医院名：
実施者氏名：
対象業務の内容：歯科診療室での切削・研磨作業

化学物質の名称	取扱量	飛散性	換気	シフト内の接触時間割合
メタクリル酸メチル	少量	中飛散性	局所排気（囲い式）	12.5%未満

化学物質の有害性：

有害性レベル	有害性レベルの詳細
メタクリル酸メチルの有害性レベルは I ~ IV（低い～高い）のうち一番高い S & S です。	メタクリル酸メチルの有害性レベル S とは <ul style="list-style-type: none">◆引火性の高い液体及び蒸気◆吸入すると有害の恐れ◆吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ◆生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い◆眼炎およびめまいの恐れ◆呼吸器への刺激の恐れ◆長期または反復ばく露による中枢神経系、呼吸器系の障害◆水生生物に有害 有害性レベル S とは <ul style="list-style-type: none">◆皮膚刺激◆強い眼刺激

見積もられたリスクレベルとリスク低減措置の内容の検討事項：

リスクレベル	リスクレベルに基づき検討するリスク低減措置内容
当該作業に用いるリスクレベルは I ~ IV（低い～高い）のうち比較的低い II & S です。右記のリスク低減措置を検討してください。	リスクレベル II I は（許容可能な）小さなリスクです <ul style="list-style-type: none">◆追加のリスク低減対策は不要ですが、コスト効果の優れた対策やコストのからない対策は実施して下さい。◆現状のリスクレベルを確実に維持するため、設備の点検・保守管理を行う必要があります。 リスクレベル S は眼と皮膚に対するリスクです <ul style="list-style-type: none">◆工学的対策では不十分なため、保護具着用が必要となります。◆保護員の選定に当たっては、使用している化学物質の物理的性質を考慮する必要があります。◆保護員の保守管理を徹底して下さい。

必要なリスク低減措置の内容：

リスク低減措置を実施するための具体的なアドバイス
<禁忌・禁止> <ul style="list-style-type: none">◆メタクリレート系モノマー又はポリマーに対して発疹・皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。 <取扱い注意事項> <ul style="list-style-type: none">◆可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で拭き取るなど、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で拭き取るなど、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。◆可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で拭き取るなど、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。◆可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で拭き取るなど、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。◆可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で拭き取るなど、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。 【個人用保護具】 <ul style="list-style-type: none">◆切削・研磨作業を行う場合は分岐機関が認可した防じんマスク等を使用して下さい。◆メタクリレート系モノマーは接触アレルギーとして知られているので、取扱いには十分注意して下さい。特に未硬化物との接触は最小限に抑えて下さい。使用する際は、必ず医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡を着用し、眼や皮膚さらには衣類に付着しないよう十分注意して下さい。なお、医療用（歯科用）手袋は直接的な接触を防げますが、一部のモノマー・溶媒が短時間のうちに浸透することが知られていますので、使用後は直ちに手袋を捨て石鹸を使用し流水で手を十分に洗浄して下さい。◆眼の損傷を防ぐために、保護メガネを着用して下さい。◆万が一目に入った場合は、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせる/受けるようして下さい。

特定された化学物質の有害性レベル

見積もられたリスクレベル

検討するリスク低減措置内容

リスク低減対策を実施するための具体的なアドバイス

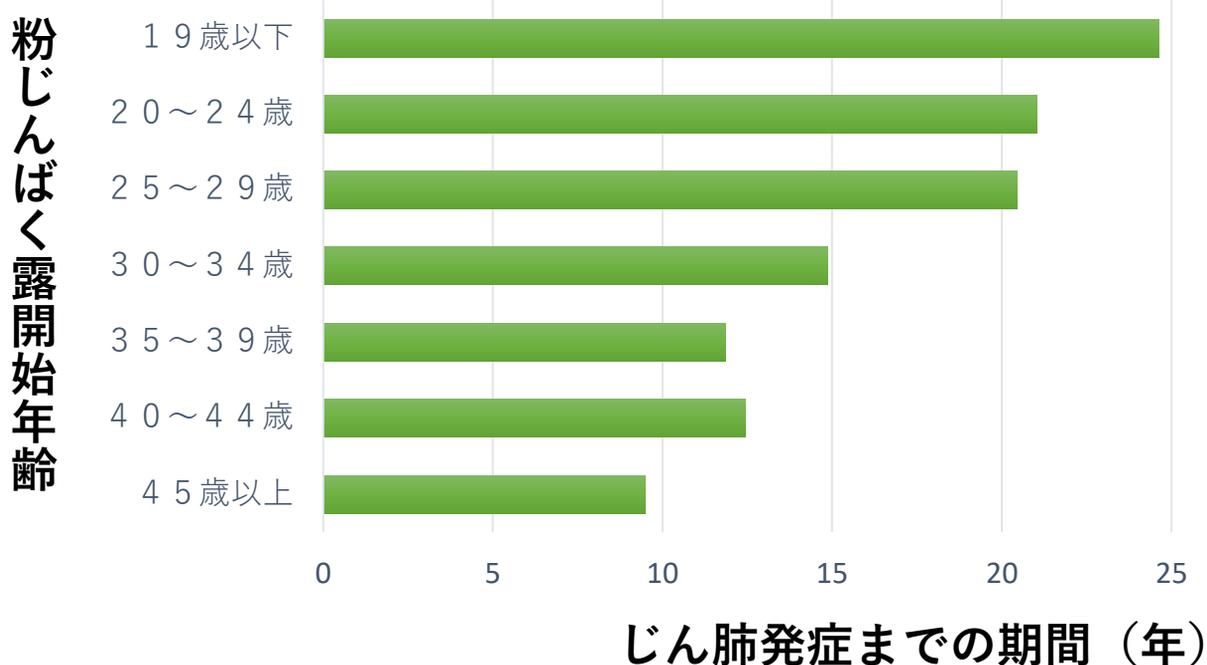
粉じんにより「じん肺」が発症します

じん肺は、粉じんを吸入することで生じる肺の線維増殖性変化を主体とする疾病で、一般に**不可逆性**です。

以前は炭坑などの掘削現場でよく見られましたが、**歯科医師や歯科技工士での報告も見られます。**

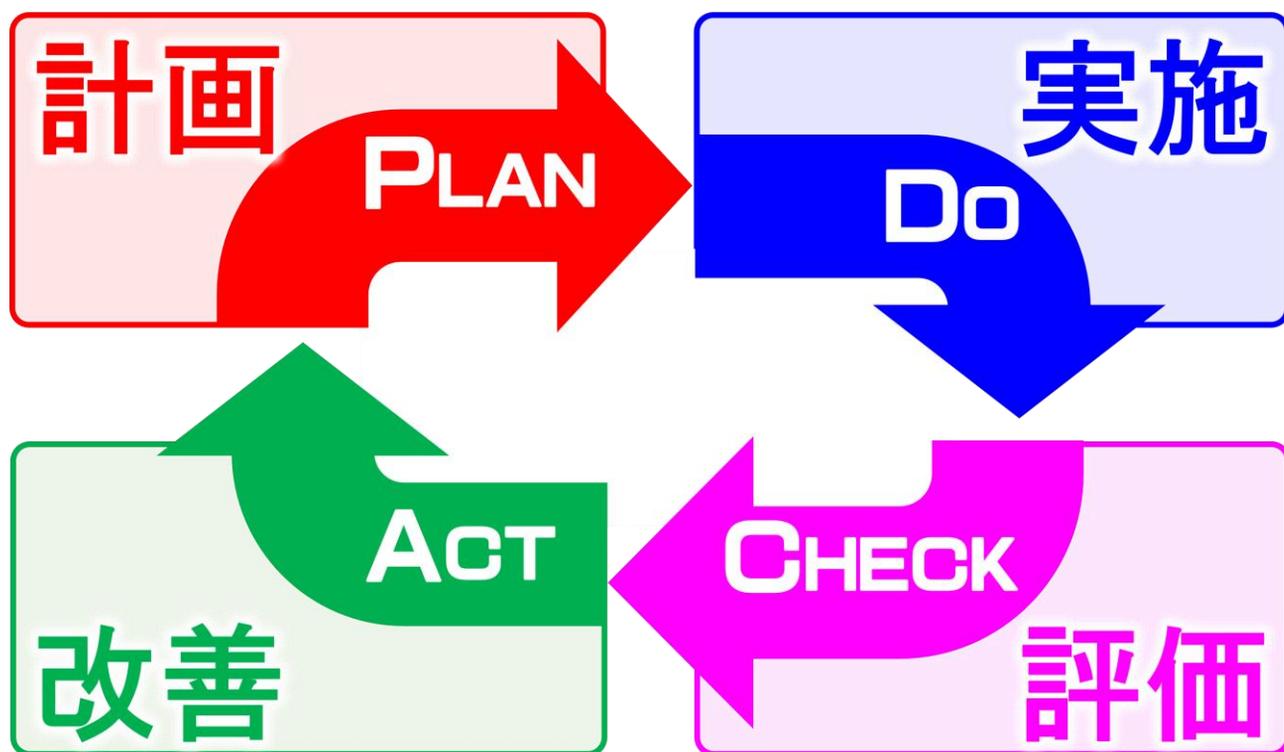


粉じんによく露する年齢が高いほどじん肺になるまでの期間が短い！



(粉じんによる疾病の防止、中災防、平成25年)

PDCAサイクルで継続的なリスク低減



働く人が将来も元気で過ごせるように

労働災害による死亡者数“**0**”をめざし、安全衛生教育・講演や安全衛生パトロール、KYT（危険予知訓練）、リスクアセスメント（機械設備・化学物質）導入支援などのご依頼も承っております。

掲載されている画像・その他の無断転載、転用を固く禁じます。



一般社団法人 高崎労働衛生センター

<https://consultant.jpn.com>

TEL : 027-325-6480